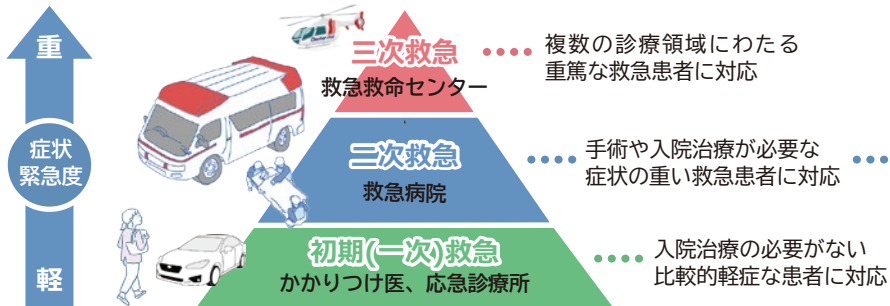


津市の二次救急医療を支える輪番体制

二次救急医療とは、救急車により搬送され、入院を要するけがや病気を対象とした救急医療のことをいいます。現在、津市では市内8つの民間病院のご協力により、平日の夜間時間帯と、土・日曜日および祝・休日の全時間帯で、365日にわたり輪番体制を組み、救急搬送患者を受け入れていただいています。救急出動件数の増加に伴い、輪番時間帯での救急患者の受け入れ件数が年々増え続ける中で、病院を取り巻く環境が厳しくなっています。

救急医療体制と役割

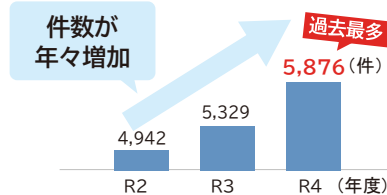


輪番体制

津市の輪番病院(8病院)
永井病院、遠山病院、武内病院、岩崎病院、吉田クリニック、津生協病院、三重中央医療センター、三重大学医学部附属病院

輪番時間帯
平日の夜間時間帯(18時～翌朝8時30分)
土・日曜日および祝・休日の全時間帯(8時30分～翌朝8時30分)

輪番時間帯の救急搬送受入件数



輪番病院を取り巻く状況

医師の不足や高齢化により輪番時の医師確保が困難

医師の長時間労働で支えられていた医療

三重大学医学部附属病院から輪番病院へ医師を派遣して対応

令和6年度から医師の働き方改革による時間外労働上限規制が導入

持続可能な輪番体制に向け、さらなる受け入れ体制の強化が必要

変わります!

津市の新しい二次救急輪番体制

救急車を受け入れるまでの時間を何とか短縮したいと、津地区医師会設置の輪番病院等の医療機関で構成する会議で協議をしていただき、4月から新しい二次救急医療の輪番体制に変わることになりました。

これまで

毎曜日	内科・外科	輪番1～2病院
	整形	輪番1病院

R5年6月から、三重大学医学部附属病院が輪番に週1回参画

津市支援額 2億793万1,000円 (R5年度予算)

新しい体制

輪番1～2病院

毎曜日 輪番1～2病院が処置中、ベッド満床などの状況で受け入れ困難な場合

三重大学医学部附属病院

全ての曜日で、整形外科患者の受け入れ体制を含め、三重大学医学部附属病院が輪番体制をバックアップ

津市支援額 2億643万1,000円 (R6年度予算)

～救急車の適正利用にご協力をお願いします～